



岩手県立盛岡工業高等学校

工業化学科



地域と未来をつなぐサイエンス・アカデミー

工業化学は「ものづくり」と切り離すことのできない重要な役割を担っています。香料・医薬品・繊維・プラスチック・塗料・水・空気・環境…私たちの生活・未来、すべてに工業化学の技術が深く関わっているのです。

工業化学科では、私たちの生活に関わる様々な化学技術について地域企業の方々や大学の先生方の御協力を得ながら協働学習を行い、より分かりやすく、より実践的な化学の知識の習得を目指しています。

また、3年間の学びを修得したのちには、「毒物劇物取扱責任者」の資格を修得することができます。



「学び」×「現場」 デュアルシステム



働くことの「責任」を実感し 自身の将来について学ぶ

就業体験(インターンシップ)から継続して長期間にわたり就業を重ねることで、実際の業務に携わり、働くことの意味、責任を実感することができます。より深く企業と関わることで、自身が身に付けるべき資質、能力に気づき、将来の工業技術を担う人材としての自覚を育成することができます。



海洋教育パイオニアスクール ～海から始まる「化学」の旅～

今年度から海洋教育パイオニアスクールとして、化学物質と海洋環境のかかわりについて学習を進めています。現在、海洋ごみをはじめとするマイクロプラスチックが海洋環境にもたらす影響は非常に大きなものとなっています。私たちは授業や実習で学んだ知識を生かして、命の起源である海と私たちの生活との関りについて調査活動を行っています。



学校設定科目「いわての化学」 ～地域を学び、未来を創る～

岩手県の化学工業を題材とし、地域の企業と連携・協働した授業を行っています。企業の方々やクラスメイトとさまざまな角度から課題や問題に対してアプローチしながら、岩手県の化学工業の成り立ちや時代背景、産業としての先端技術、環境に配慮した取り組みを学びます。



授業後の生徒の振り返り



授業のまとめ「プロフェッショナルから学べ」

工業化学科学校設定科目
「いわての化学」の紹介